

取扱説明書

給湯加圧タンクユニットシステム

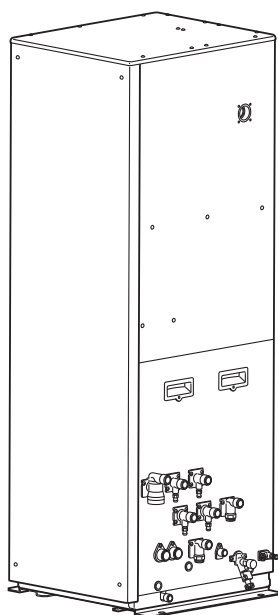
タンクユニット

業務用

保証書付

品 名

RPTU-500-BG1
RPTU-500-BG2



ご愛用の皆様へ

- このたびはリンナイ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき正しくお使いください。
- この取扱説明書では、システムを構成する機器のうち、タンクユニットについて記載しております。お使いになる前に、この説明書とガス熱源機の取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。
- 取扱説明書はいつでも使用できるよう大切に保管し、使用方法が分からないときにお読みください。
- この製品は国内専用です。

Rinnai

お使いになる前に

機器の設置場所を確認する

- 1

機器の設置場所を確認する。

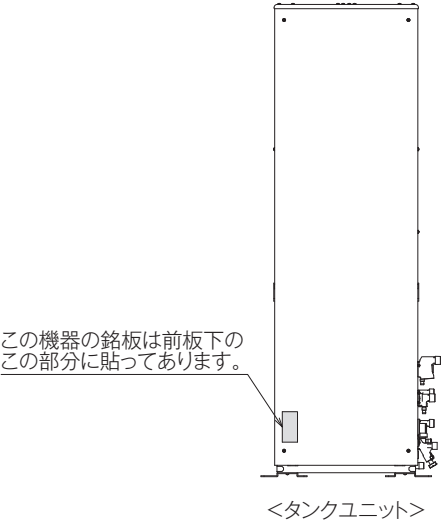
設置場所がわからないときは、機器の設置工事を行った施工店にご確認ください。

- 2

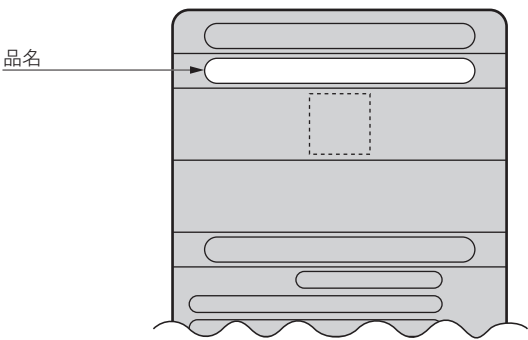
機器の品名を確認する。

品名は、機器の銘板に記載されています。

銘板の位置



品名の位置



品名を確認したら、以下の欄に記入してください。お問い合わせの際に必要です。

品名	
----	--

もくじ

安全なご利用のために

安全上のご注意（使用編）.....	3	●
安全上のご注意（設置編）.....	10	■

お使いになる前の準備

各部のなまえとはたらき	13	●
初めてお使いのとき	15	■

使用方法

お湯を使う	16	●
故障表示点滅時のブザー音の停止	16	■

知っておいてください

冬期の凍結による破損防止について	17	●
日常の点検・お手入れのしかた	18	■
長期間使用しない場合は	20	●
再び使用するとき	20	■
断水したとき	20	●
故障かな？と思ったら	21	■
主な仕様・能力表	23	●
アフターサービスについて	24	■
保証書	裏表紙	

安全上のご注意 (必ずお守りください) (使用編)

- 製品を正しくお使いいただくためや、お客様や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
- 以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる軽傷、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

軽 傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などをさします。
物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

- 絵表示には次のような意味があります。

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。		火災注意						
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。		火気禁止		触れないこと		分解禁止		ぬれ手禁止
	この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。		電源プラグをコンセントから抜く						

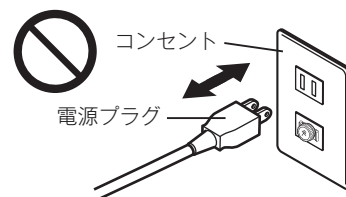
 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
---	--

ガス漏れに気づいたら（居室でガスのにおいを感じたら）



- 絶対に火をつけない
- 電気器具のスイッチの入 / 切をしない
- 電源プラグの抜き差しをしない
- 周辺の電話を使用しない

ガス漏れに気づいたときは、ガス事業者の係員による処置が終わるまで上記のことを行わないこと。
炎や火花で引火して爆発事故のおそれがあります。



■すぐに使用を中止する

- ①すべてのガス栓とメーターのガス栓を閉める。



- ②窓や戸を開けガスを外へ出す。



- ③外に出て、もよりのガス事業者（供給業者）に連絡する。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

ガス熱源機や排気口の周囲には



■ガス熱源機や排気口を洗たく物などで覆わない

■紙や木材などの燃えやすい物を置かない

火災の原因になります。

■スプレー缶・ガソリン・ベンジンなどの引火性危険物を置いたり、使用したりしない

引火して火災のおそれがあります。

■スプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどを置いたり、使用したりしない

熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発するおそれがあります。



異常時の処置



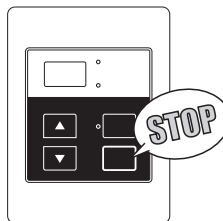
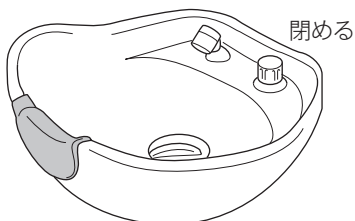
■異常時は使用を中止しガス栓を閉める

1.使用中に異常な臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合はただちに使用を中止してガス栓を閉めてください。

①給湯栓をすべて閉める。

②運転スイッチを「切」にする。

③ガス栓を閉める。



2.異常を感じたときは、「故障かな?と思ったら」(P.26・27ページ)に従ってください。

3.上記の処置をしても直らない場合は使用を中止して、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

リンナイ(株) お客様センター フリーダイヤル: 0120-054321

■地震・火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止してガス栓・給水元栓を閉める

ご使用について



■ガス熱源機本体に無理な力を加えない

ガス熱源機本体やガスの接続口などに乗らないでください。けがや機器の変形によるガス漏れ・不完全燃焼のおそれがあります。

■外付け装置による遠隔操作は行わない

スマートフォンやIT機器を使ってリモコンのスイッチを操作する外付け装置*は、安全性を確認できないので使用しないでください。

※リモコンのスイッチ付近に取り付け、インターネット通信等を介してスイッチを「入」「切」できる装置。

安全上のご注意 (使用編) (つづき)



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

電源ケーブル・プラグについて



■ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

感電のおそれがあります。

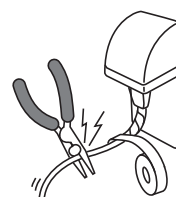


■雨が降り出している場合は電源プラグを抜かない

感電のおそれがあります。

■電源ケーブルを切断して延長はしない

電源ケーブルがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災などの原因になります。



■電源ケーブルを破損させたり、加工したり、傷んだままや束ねたまま使用しない

故障や感電・火災の原因になります。



■電源ケーブルを引っばって電源プラグを抜かない

電源ケーブルを引っばると破損して感電や火災の原因になります。



■電源プラグは根元まで完全に差し込む

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



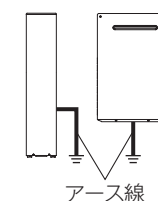
■電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



■アースされていることを確認する

この機器はアースが必要です。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

やけど防止のため



■ 出始めのお湯は手や体にかけない

- お湯を止めた後に再使用するときやお湯の量を急に少なくしたとき、あるいは万一機器の故障の際には一瞬熱いお湯が出る場合があります。
- シャワーなどお湯を使う場合、最初に熱いお湯が出る場合があります。やけど防止のため、シャワーはいきなり頭や体にかけないでください。

■ 給湯使用時は給湯栓が熱くなるのでやけどに注意する



■ 手のひらで湯温を十分に確認する

- やけど防止のため、手で湯温を確かめてからお使いください。また、使い始めは正常でも使用中に熱くなる場合もありますので、熱いお湯が出た場合はすぐに使用を中止してください。なお、このような状態が続く場合は機器の故障の可能性がありますので、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。
- 給水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、サーモスタット式混合水栓の設定温度よりも熱いお湯が出る場合があります。
このような場合は湯量を多めにしたり、サーモスタット式混合水栓の設定温度をさげてください。



洗髪給湯専用



■ 飲用として使用しない

シャンプー台やシンク類以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故につながる場合があります。

安全上のご注意 (使用編) (つづき)



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

やけど防止のため



- 使用中や使用直後は排気口やその周辺に絶対手を触れない
排気口やその周辺は高温になっています。絶対に手で触れないでください。



ご使用上の注意



- 給湯・シャワー以外の用途には使用しない
思わぬ事故や故障の原因になります。
- システムの排水口から排出される水は、飲用・調理用・飼育用などに使用しない
- 排気口に指や棒を入れない
故障やけがの原因になります。
- アンモニアの発生源を置かない
アンモニアを発生させる物（ペットのトイレや堆肥など）はガス熱源機の近くに置かないでください。
アンモニアが機器に悪影響を与え、故障の原因になります。

お子様には



- 機器の周囲や直下で遊ばせない
思わぬ事故の原因になります。

廃棄時の注意

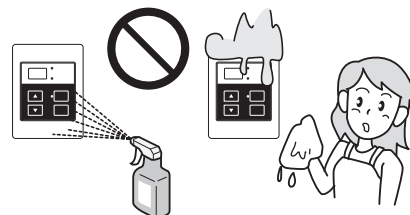


- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する

お願い

■ ご使用について

- 使用時は必ずリモコンの運転スイッチを「入」にしてください。運転スイッチを切った状態では水が出ません。
- 使用時は5リットル/分以上の通水量でご使用ください。少ない場合、水が出なかったり冷たい水が出たりします。
- 電源プラグを抜かないでください。凍結防止運転が実施されなくなります。
- ガス栓を閉めないでください。凍結防止運転が実施されなくなります。
- 給水元栓を閉めないでください。凍結防止運転が実施されなくなります。
給水元栓を閉める場合は、必ず機器の水抜き（☞ 17ページ）を行ってください。（断水時は除く）
機器の水抜きは、お買い上げの販売店または施工店へご依頼ください。
- 長期間タンク内の水が溜まったまま使用すると、水質変化により健康を害するおそれがあります。
長期間（1か月以上）使用しない場合は、お買い上げの販売店または施工店へ機器の水抜きをご依頼ください。（☞ 20ページ）
- リモコンはお子様がいたずらしないように注意してください。
思わぬ事故や故障の原因になります。
- リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようにしてください。故障の原因になります。
- リモコンに炊飯器や電気ポットなどの蒸気が当たらないようにしてください。蒸気が浸入して故障の原因になることがあります。
- リモコンに洗剤をかけたり、水洗いしたりしないでください。また、リモコンのまわりの壁にかけた洗剤や水がリモコンに垂れないようにふき取ってください。リモコンに洗剤や水が浸入して、故障の原因になります。
- リモコンは乱暴に扱わないでください。故障の原因になります。
- 給水配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、タオルなどが青く見えることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い・すすぎをよくすることにより、発色しにくくなります。
- 塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤・消臭剤または塩などが機器やガス管などにかかった場合は、すぐに十分な水洗いをしてください。思わぬ事故や故障の原因になります。



安全上のご注意 (使用編) (つづき)

お願い

■断水したとき

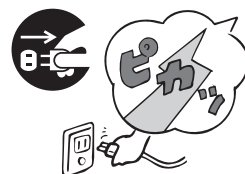
- 断水時には運転を停止して給湯栓を閉めてください。給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復歸したときに水が流れっぱなしになります。また断水が復歸した後は、給湯栓から十分に水を流してから使用してください。
- 断水時や近くで水道工事が行われるときは、このシステムの給水元栓を閉めてください。濁った水で機器内のストレーナなどが目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
- 断水復旧後は20ページを参照して、配管にたまった水を出してから使用してください。

■停電時のご注意

- 停電すると使用できません。

■雷が発生したとき

- 雷が発生しはじめたらすみやかに運転を停止し、タンクユニット・ガス熱源機の電源プラグをコンセントから抜いてください。または、タンクユニット・ガス熱源機が接続されている分電盤の配線用遮断器を「切」(OFF) にしてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。また、感電のおそれがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。
- 雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグがぬれていないことを確認してコンセントにしっかりと差し込んでください。タンクユニット・ガス熱源機が接続されている分電盤の配線用遮断器を「入」(ON) にしてください。



ぬれた手で
さわらないこと

■点火・消火の確認

- リモコンの燃焼ランプ（赤）で、使用時の点火（ランプ点灯）および使用後の消火（ランプ消灯）を確認してください。

安全上のご注意 (設置編)



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

改造・分解禁止



■絶対に改造・分解は行わない

改造・分解は一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障の原因になります。また、火災の原因になります。

工事は資格必要



■この機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。

工事は必ずお買い上げの販売店または施工店に依頼してください。

ソーラー接続禁止



■この機器は、太陽熱温水器（ソーラーシステム）とは接続しない

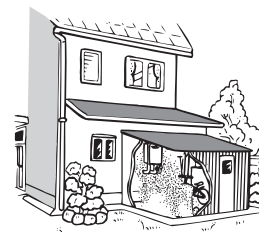
ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをするおそれがあります。

設置場所



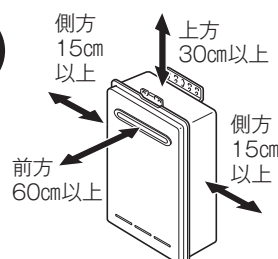
■ガス熱源機の囲い設置をしない

ガス熱源機の排気口を波板で囲んだりシートなどで覆わないでください。また、増改築や家屋の修理・外壁塗装のために養生シートで覆われているときは、ガス熱源機を使用しないでください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



■離隔距離を確保する

ガス熱源機周辺の物とは常に右図の離隔距離を確保してください。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置場所

■機器の設置状態の確認

- 本システムの機器の設置にあたって次の項目をチェックしてください。
 - ①機器は傾いて設置されていませんか？
 - ②メンテナンスができない場所に設置されていませんか？メンテナンスをお断りすることがあります。
 - ③近隣の家が騒音（燃焼音・燃焼用送風機・ポンプ回転音など）で迷惑にならない場所に設置してありますか？
 - ④キッチンの換気扇の近くに設置していませんか？
油分の付着や燃焼排ガスにより、性能低下や機器故障の原因になります。
 - ⑤タンクユニットは、小動物のすみかになるような場所には設置していませんか？
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。また、周辺をきれいに保つようにしてください。

以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

- 温泉水や地下水や井戸水は、水質によっては機器の配管内部に異物が付着し、故障することがあります。その場合は、保証期間内でも修理は有料となります。

お願い

■増改築する場合

- 塀などを増設する場合は、空気の流れが停滞しないように考慮してください。燃焼不良の発生を防止するためです。また、機器の点検・修理のための空間を確保してください。
(機器の点検修理のための空間については、お買い上げの施工店にお問い合わせください。)

■機器の設置状態の確認

- 本システムの機器の設置にあたって次の項目をチェックしてください。
 - ① 冷・暖房機や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は避けてありますか？正常な燃焼の妨げになることがあります。
 - ② 棚の上など落下物の危険はありませんか？
 - ③ ガス熱源機の排気口への積雪や、屋根から落ちた雪で排気口が閉塞されることはありませんか？不完全燃焼の原因になります。
 - ④ タンクユニットが以下の場所に設置されていませんか？
事故や故障の原因となります。
 - ・ 最低気温が-10℃以下となる場所
 - ・ 塩害地（耐塩害仕様は除く）
 - ・ 階段・避難口などの付近で、避難の支障となる場所
 - ・ 冠水する場所や排水しにくい場所
 - ・ 潮風が直接当たる場所

以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

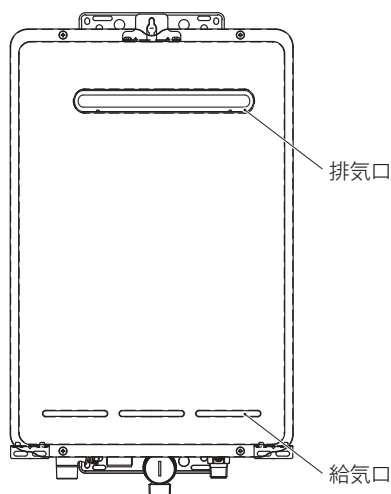
- 増改築によって、燃焼排ガスが直接建物の外壁・窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 植物やペットなど、燃焼排ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものは排気口の周囲に置かないでください。
- 事故防止のため、この機器専用の付属品・別売品以外は使用しないでください。
- この機器は海拔1,000mまで使用できます。1,000mを超える地域で使用すると、点火不良などの不具合が発生することがあります。

各部のなまえとはたらき

給湯加圧タンクユニットシステムは、ガス熱源機、タンクユニットによって構成されています。

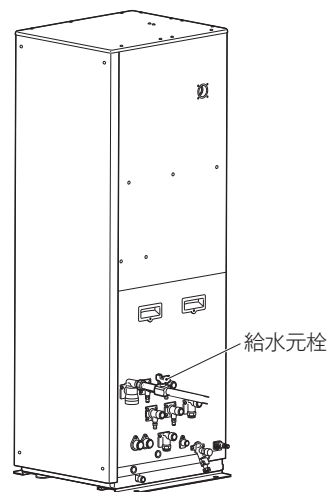
ガス熱源機 (RUXC-A1610W) (RUXC-A2400W)

- ガスを燃焼させてお湯を作ります。



タンクユニット (RPTU-500-BG1) (RPTU-500-BG2)

- ガス熱源機で作ったお湯を貯めておきます。
- 60℃のお湯と水を出します。



リモコン (MC-91-1)

- 各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音でお知らせします。

デジタルモニター

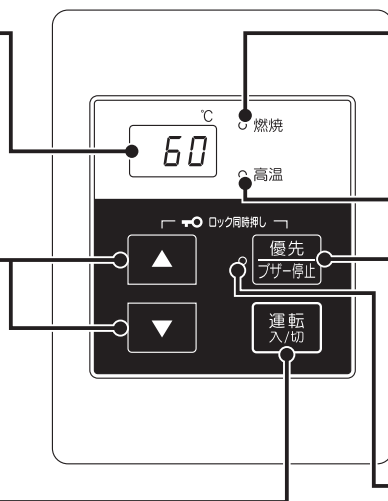
リモコン「入」でお湯の温度 (60℃: 固定) が表示されます。また、機器に不具合が発生したときは故障表示が点滅します。(122 ページ)

切替スイッチ

切替スイッチを同時に 3 秒以上押すと操作確認音とブザー音が切り替わります。(114 ページ)
切替スイッチでは温度は変更できません。

運転スイッチ

お湯を使うときは押して「入」にします。(デジタルモニターが点灯します)
もう一度押すと「切」になります。(デジタルモニターが消灯します)



燃焼ランプ (赤)

ガス熱源機が燃焼しているときに点灯します。

高温ランプ (赤)

リモコン「入」時に点灯します。

優先／ブザー停止スイッチ

故障表示点滅時のブザーを止めるときに使います。

運転ランプ (黄緑)

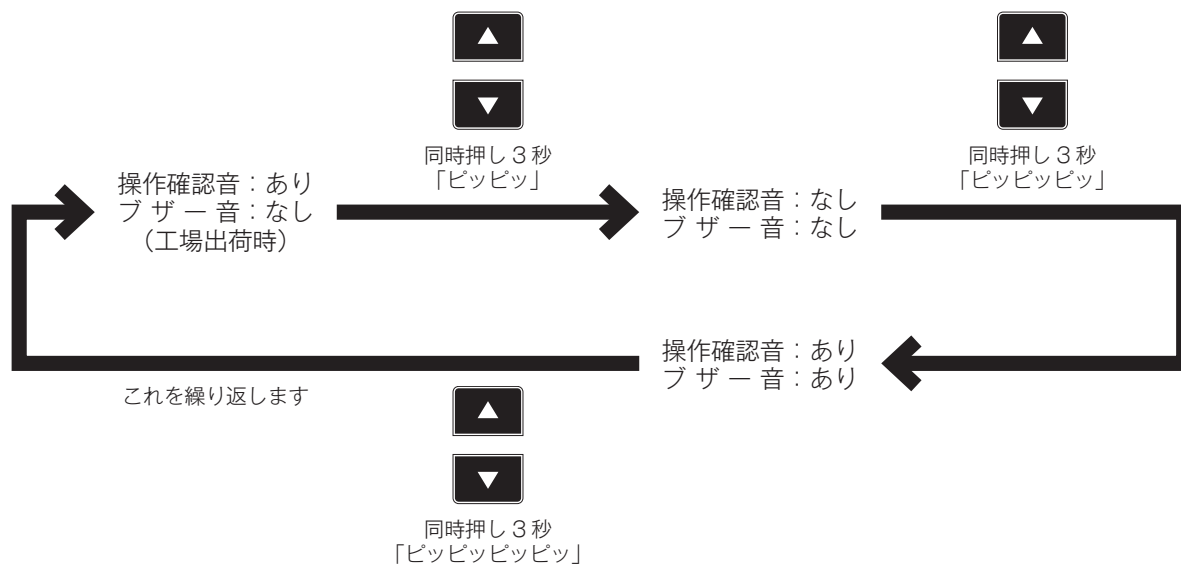
リモコン「入」時に点灯します。

お知らせ

- ・お湯を使用しているときはガス熱源機が作動し燃焼します。
ただし、燃焼しない場合もあります。また、お湯を使用していないときに燃焼する場合もあります。

リモコンの操作確認音・ブザー音の設定を変更する

- 切替スイッチを同時に 3 秒以上押すことでリモコンの操作確認音とブザー音（故障表示が点滅した場合に発報する音）の設定を変更できます。
- 設定の変更は「ピッピッ」などの確認音でお知らせします。



● 各部のなまえとはたらき

初めてお使いのとき

準備する

タンクにお湯を沸かす準備をします。

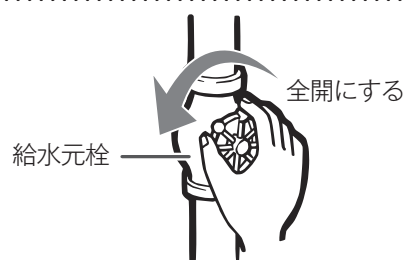
⚠ 注意

- 本システムは、あらかじめタンクユニットへの水はりが必要です。試運転などは施工時に実施されますが、未実施の際は
お買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。
- ぬれた手で電源プラグや漏電遮断器をさわらないでください。感電のおそれがあります。
- 再使用時のサーモスタット式混合水栓の設定温度にご注意ください。

水はり確認後

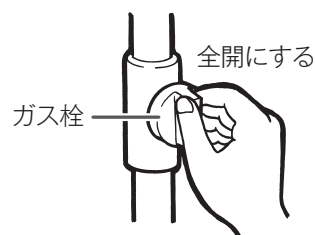
1 給水元栓を全開にする

- 給水元栓の位置は 19 ページを参照してください。



2 ガス栓を全開にする

- ガス栓はガス熱源機の下にあります。

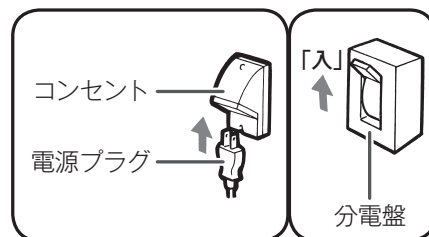


3 タンクユニット・ガス熱源機の電源プラグを電源コンセントに差し込む

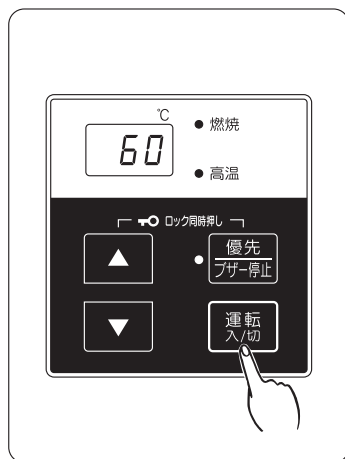
- コンセントは機器付近の壁などにあります。
- タンクユニット・ガス熱源機が接続されている分電盤の配線用遮断器を「入」(ON) にしてください。



ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。
感電のおそれがあります。



お湯を使う

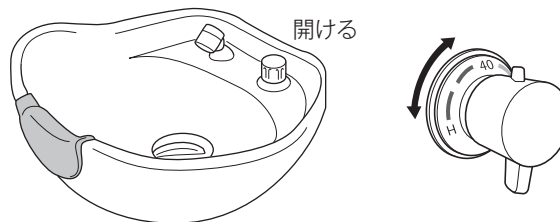


1 運転スイッチを押す。

- デジタルモニターに「60」が表示されます。
- 運転ランプと高温ランプが点灯します。

2 給湯栓を開ける。

- 給湯栓を開くとお湯が出ます。サーモスタット式混合水栓温度調節ハンドルを調整し、適温にしてください。



- お湯が出ると、ガス熱源機が燃焼し燃焼ランプが点灯します。
ただし、一時的に燃焼しない場合もあります。(使用量が少なく、タンクに十分なお湯がある場合など)

警告

- お湯の使用中は絶対にリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が出なくなります。

お知らせ

- ・ 湯量が給湯能力以上の場合は、60°Cよりもぬるいお湯が出ることがあります。
- ・ 湯量を絞り過ぎた場合、ポンプが停止する場合があります。
- ・ 給水温が高い場合は、60°Cよりも熱いお湯が出ることがあります。

故障表示点滅時のブザー音の停止

- 機器が故障するとデジタルモニターに故障表示が点滅してブザーが鳴ります。ブザー音を停止したいときは「優先/ブザー停止」スイッチを押してください。

優先
ブザー停止



お知らせ

- ・ 運転スイッチを「切」にするとブザーは停止しますが、もう一度運転スイッチを「入」にして故障表示したときは、再度ブザーでお知らせします。

初めてお使いのとき

お湯を使う／故障表示点滅時のブザー音の停止

冬期の凍結による破損防止について

●暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください。

⚠注意

- 冬期は暖かい地方でも、給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次のような内容をお守りください。
 - ・タンクユニット・ガス熱源機の電源プラグをコンセントから抜かないでください。
 - ・ガス熱源機のガスの元栓を閉めないでください。
 - ・タンクユニットの給水元栓を閉めないでください。
- 凍結による破損の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

お願い

配管の凍結予防について

- ・外気温が0℃近くまで下がってくると、自動的にポンプが運転し、凍結防止燃焼してお湯を循環させて、凍結を予防します。
(電源プラグをコンセントから抜かないでください。ガス栓も閉めないでください)
- ・外気温が0℃近くまで下がってくると、自動的にタンクユニットに補水し凍結を予防します。
(給水元栓を閉めないでください)
- ・外気温が0℃近くまで下がってくると、自動的にタンクユニット内のヒーターが作動し凍結を予防します。

対策その1 凍結予防ヒータとポンプ運転による方法

- タンクユニットは、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータが組み込まれています。
- ガス熱源機には、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータが組み込まれています。
- タンクユニットは、外気温が下がるとポンプが運転してガス熱源機とタンクユニットの凍結を予防します。さらに外気温が下がると、自動的にタンク沸き上げをして凍結を予防します。(タンク沸き上げをした場合、ガス代が余分にかかります)

■お客様に行っていただきたいこと

1. タンクユニットとガス熱源機の電源プラグがコンセントに差し込まれていることと、タンクユニットとガス熱源機が接続されている分電盤の配線用遮断器が「入」(ON)のままであることを確認してください。
2. ガス熱源機のガスの元栓が閉められていないか確認してください。
(プロパンガスの場合、ガスの元圧も十分であるか確認してください。)
3. タンクユニットの給水元栓が閉められていないか確認してください。

対策その2 水抜きによる方法

- 停電時は、凍結予防装置がはたらきません。したがって、屋外の水が凍るおそれがある場合で、お湯を使わないときは機器の水抜きが必要です。
 - この機器の水抜きについてはお買い上げの販売店または施工店に確認してください。
水抜きの方法は工事説明書に記載しています。
- ※使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

●水抜きをした機器を、次に使うときは ...

- お買い上げの販売店または施工店に確認してください。水はりの方法は工事説明書に記載しています。

日常の点検・お手入れのしかた

安心してお使いいただくため、半年に1回以上、行ってください。

※使用後は機器内のお湯が高温になっていますので機器が冷めてから行ってください。

お客様ご自身で行っていただく日常の点検・お手入れの際は、次のことに注意してください。

お手入れは、必ず①ガス栓を閉め、②タンクユニットとガス熱源機の電源プラグを抜き、③機器が冷めてから行ってください。

■日常の点検…次のことにご注意ください。

- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？また、各部品とも正しくセットされていますか？
- 機器および配管から水漏れはありませんか？
- 沿岸部で潮風に当たりやすい地域でご使用の場合は、潮風に含まれる塩分によって機器本体や配管接続部にさびが発生しやすくなります。外観上のさびがひどい場合は、機器内部の部品への影響も考えられますので、点検（有料）をお願いします。また、万が一本体に穴があいた場合はすぐに使用を中止し、修理を依頼してください。
- 機器のまわりや排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルタ（金網）を掃除してください。

お願い

水圧の低い地域では、浄水器を使用しないでください。お湯の量が少なくなります。

- 機器本体には安全に関する注意ラベルが貼ってあります。汚れたり、読めなくなったときはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。ラベルについては販売店または当社お客様センターにお問い合わせください。
- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、燃焼部などは年1回程度の定期整備をおすすめします。なお、この機器は給水用具（逆流防止装置）を内蔵しています。給水用具に関しては公益社団法人日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に示されている定期整備の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。（有料）
- ※整備の内容や定期整備を受ける先が不明の場合や整備費用などについては、お買い上げの販売店または当社お客様センターにお問い合わせください。
- 使用条件・環境条件によっては劣化しやすい消耗部品があり、定期的な交換が必要です。
- ※部品交換は純正部品をご指定ください。部品交換は有料で交換します。

■配管の点検

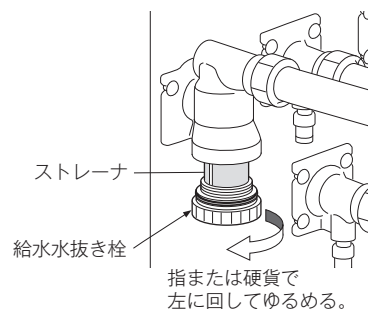
- 水漏れや保温材の破損などを点検してください。特に冬期に入る前には、保温材のチェックを行ってください。破損している場合、配管や機器が凍結し破損することがあります。

冬期の凍結による破損防止について

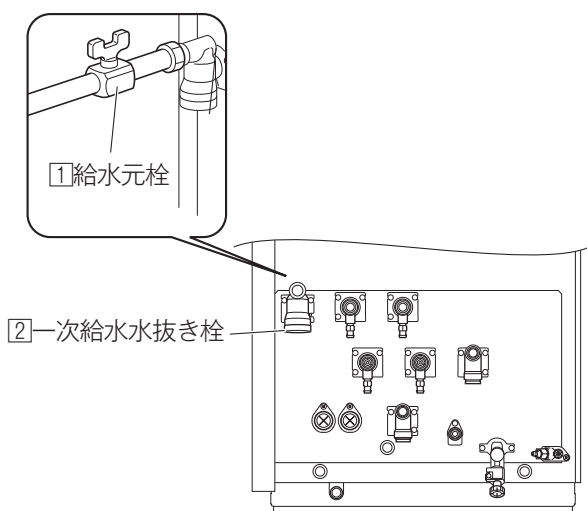
日常の点検・お手入れのしかた (つづき)

■ストレーナのお手入れ

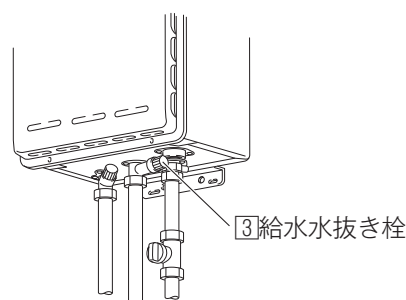
- タンクユニットの給水水抜き栓先端のストレーナのお手入れをします。
ストレーナにごみなどが付いていると使用中にお湯が出なくなります。
特に近くで水道工事があったときはご注意ください。
- 次の手順でタンクユニットのストレーナのお手入れをしてください。
 1. リモコンの運転スイッチを「切」にします。
 2. ①給水元栓を閉めてください。※必ず行ってください。
 3. タンクユニットの②一次給水水抜き栓を左に回してはずして、ストレーナに付いているごみを取り除いてください。
 4. タンクユニットの②一次給水水抜き栓を元通りに取り付けてください。
- 次の手順でガス熱源機のストレーナのお手入れをしてください。
 5. ガス熱源機の③給水水抜き栓を左に回してはずして、ストレーナに付いているごみを取り除いてください。
※機器の使用直後は水抜き栓から機器内に残った熱いお湯が出ることがあります。
機器が冷めるまで待って必ず給水元栓を閉めてから行ってください。(やけど防止のため)
 6. ガス熱源機の③給水水抜き栓を元通りに取り付けてください。
 7. ①給水元栓を開けてください。



〔タンクユニット〕



〔ガス熱源機〕



長期間使用しない場合は

- 長期間使用しない場合は、お買い上げの販売店または施工店へ機器の水抜きをご依頼ください。
- ※水抜きしない状態で、機器の電源は切らないでください。
給水元栓・ガスの元栓も閉めないでください。

再び使用するときは

水抜きをした機器を次に使う時は…

- 水抜きをした機器を再び使用する時も、お買い上げの販売店または施工店へ機器の水はりをご依頼ください。
- ※水抜きをしていない状態で長期間使用しなかった場合は、使用前に混合水栓を開けて十分に水を流してからご使用ください。(10分程度)

断水したとき

断水したとき

1. 給水元栓を閉めてください。(P. 19 ページ)
2. 使用中の給湯栓は、すべて閉めてください。
3. リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

断水が復旧したときは…

1. 給水元栓を開けてください。
2. リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。
3. サーモスタット式混合水栓の温度調節ハンドルを水側に調整し、混合水栓を開けて十分に水を流してからご使用ください。

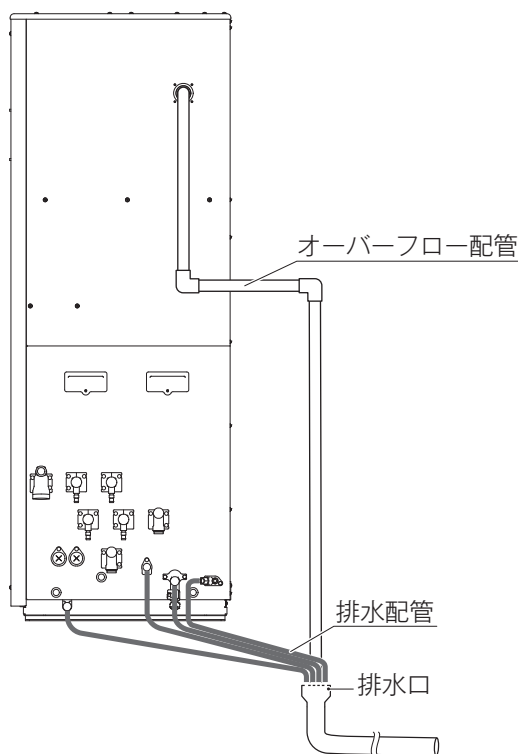
故障かな？と思ったら

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障ではない場合もあります。

修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

お使いのガス熱源機取扱説明書に記載されている「故障かな？と思ったら」もご参照ください。

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
給湯栓を開けてもお湯が出ない、または、少ない	リモコンが「入」になっていますか。 タンクユニットのストレーナにごみなどが詰まっていますか。	19 ページ
湯温が変動して安定しない	ガス切れになっていませんか。 ガス熱源機の給水水抜き栓のストレーナにごみなどが詰まっていますか。	19 ページ
使用中タンクユニットのオーバーフロー排水から水が排水される	使用中はオーバーフロー排水から水が排水されますが異常ではありません。未使用中でも、凍結防止対策・異物混入対策でオーバーフロー排水から水が排水されることがあります。	
使用中タンクユニットの排水配管から水が排水される	ガス熱源機燃焼中は水の膨張により排水口から水が排水されますが、異常ではありません。	
リモコンオフ中にガス熱源機が運転する	リフレッシュ運転沸き上げもしくは凍結防止沸き上げを行っています。異常ではありません。	
操作確認音、ブザー音が鳴るようになった、もしくは鳴らなくなった	操作確認音、ブザー音の設定が変わっていませんか。	14 ページ
リモコンの上下スイッチを押しても、設定温度が変わらない	リモコンの設定温度は 60℃ 固定となっており、上下スイッチを押しても設定温度は変わりません。	13 ページ
混合水栓を開けていないのに、リモコンの燃焼ランプが点灯する	タンクの貯湯運転を行っています。異常ではありません。	13 ページ
リモコンの高温ランプ、運転ランプが点灯したまま	リモコン運転オン中は常時点灯です。	13 ページ



故障表示が点滅する

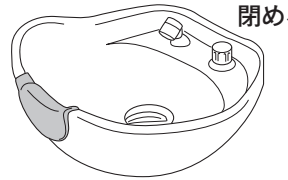
機器が故障すると表示画面に「故障表示」と「60」が交互に点滅し表示されます。
故障表示が点滅した場合は次の操作をしてください。

1 ガス栓と給水元栓が十分に開けてあるか確認します。



全開にする
ガス栓 給水元栓

2 お湯を使っている場合は、給湯栓を閉めます。



閉める

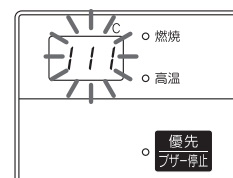
3 運転スイッチを「切」にして、再び「入」にします。



運転
入/切

4 再び使用してみてください。

- 上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店または当社お客様センターに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。



●タンクユニットの故障表示

故障表示	故障内容
149	熱源機戻サーミスタ高温異常
159	T1 差込みサーミスタ高温異常
169	水圧異常
179	漏水センサ検知
319	熱源機行きサーミスタ異常
329	熱源機戻サーミスタ異常
349	タンク外気温サーミスタ異常
359	即湯戻サーミスタ異常
419	水量センサ異常
449	圧力センサ異常

故障表示	故障内容
469	漏水センサ異常
479	低水位フロートセンサ異常
489	フロートセンサ異常
499	オーバーフローフロートセンサ異常
569	給水電磁弁異常
629	給水加圧ポンプ異常
639	即湯循環ポンプ回転数異常
649	給湯器用ポンプ①回転数異常
659	給湯器用ポンプ②回転数異常
709	タンク電装ユニット異常

故障表示	故障内容
719	タンク電装ユニット異常
809	ガス熱源機全数異常
819	給湯器用ポンプ① & ②回転数異常
829	ガス熱源機全数異常
A09	T1 差込みサーミスタ異常
A19	タンク下サーミスタ異常
A39	T2 タンク表面サーミスタ異常
A49	T3 タンク表面サーミスタ異常

●熱源機の故障表示

故障表示	故障内容
111	点火ミス
121	途中失火（立消え）
141	過熱防止装置の作動 温度ヒューズの作動
161	沸騰検知
191	地絡検知

故障表示	故障内容
321	出湯サーミスタ異常
521	ガス比例弁異常
611	燃焼ファンモータの回転異常
651	水量制御の異常（止水不良）
711	熱源機電装ユニット・ガス 電磁弁回路の異常

故障表示	故障内容
721	熱源機電装ユニット・フレームロッド 回路の異常（疑似炎チェック）
881	点検時期告知表示
901	給・排気閉塞異常
991	機器運転停止

故障かな？と思ったら

主な仕様・能力表

型 式 ※1			RPTU-500-BG2	RPTU-500-BG1
設 置 方 式			屋外屋内兼用型	
外 形 寸 法 (mm) 幅 × 奥 行 × 高 さ			469 × 560 × 1551	
出 荷 時 質 量 (kg)			66	
満 水 時 質 量 (kg)			178	
タ ン ク 容 量 (L)			(給水タンク) 45L (貯湯タンク) 50L	
最 高 圧 力 (Mpa)			0.25	
沸 き 上 が り 温 度			60℃	
接	一 次 給 水		20A (R3/4)	
	給 湯 往		20A (R3/4)	
	給 水		20A (R3/4)	
	熱 源 往 ①		20A (R3/4)	
	熱 源 往 ②		20A (R3/4)	
	熱 源 戻		20A (R3/4)	
	給 湯 戻		20A (R3/4)	
	排 水 栓		15A (G1/2 B)	
	排 水 口 ①		15A (R1/2)	
	排 水 口 ②		15A (R1/2)	
続	オーバーフロー		VP30	
電	電 源		AC100V	
気 関 係	消 費 電 力 (W) (5 0 - 6 0 H z)	待 機 時	5.7	
		作 動 時 最 大	395	340
		凍 結 予 防 ヒ ー タ	154	
安 全 装 置			逃し弁 (0.25MPa)	凍結予防装置
給 水 装 置 認 証 番 号			NC1016	

※ 1 耐塩害仕様の場合は型式末尾に「-EG」が追加されているものもあります。
仕様は改良の為予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

■修理を依頼される前に

- 21・22 ページの「故障かな？と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。
確認のうえそれでも不具合がある場合やご不明な点がある場合は、ご自分で修理なさらず、必ずガス栓・給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて（分電盤の配線用遮断器を「切」にして）から、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。
- 修理をお申し付けの際は、次のことをお知らせください。
 - ① 製品名（タンクユニット）
 - ② 品名（銘板表示のもの…1 ページ参照）
 - ③ 故障または異常の内容（故障表示の数字など…22 ページ参照）
 - ④ お名前・ご住所・電話番号・道順（付近の目印など）
 - ⑤ 訪問ご希望日・時間帯

■転居または機器を移設される場合

- 増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整には専門の資格・技術が必要となります。必ずお買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないよう場所をお選びください。また、ガス熱源機本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居・移設に伴う調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

■保証について

- 本書の裏表紙が保証書になっています。
- 必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定期間・一定条件のもとに、無料修理に応ずることを約束いたします。（詳細は保証書をご覧ください）
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので、大切に保管してください。
- 凍結による故障の場合は保証期間内であっても有料となりますのでご注意ください。
- 自然災害（虫や小動物・雑草などの侵入など）による故障は、保証期間内でも有料修理となりますのでご承知おきください。

■補修用性能部品の保有期間について

- この機器の補修用性能部品の保有期間は、製品本体の製造打切後 7 年です。
- 性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスなどの連絡先

- お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

■お客様の個人情報の取り扱いについて

- 当社はお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 当社は機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合やその他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

アフターサービスについて (つづき)

■交換部品・別売品などのお求めは

- 当社のインターネット販売サイト R.STYLE（リンナイススタイル）では、交換部品や別売品・お手入れ品などを幅広く取り扱っております。交換部品はお客様自身でお取り替えできる部品が対象です。なお、取扱説明書を紛失した際も下記サイトからお買い求めいただけます。



当社製品の交換部品・お手入れ品などをインターネット販売サイトよりご注文いただけます。

<https://www.rinnai-style.jp/>

MEMO

給湯加圧タンクユニットシステム 保証書

タンクユニット

RPTU-500-BG1

RPTU-500-BG2

この製品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

記

- 保証期間は、お買い上げの日から1年間とし、タンクユニット本体を対象とします。
保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社お客様センターにご相談ください。
リンナイ(株) お客様センター フリーダイヤル：0120-054321
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 保証についての規定は下記をご覧ください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはもよりの弊社窓口が無料修理いたします。
 - 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
 - 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 犬・猫・鳥・鼠・くも・ゴキブリなどの小動物や昆虫類の侵入などに起因する不具合。
 - (ニ) 火災・凍結・水害・地震・落雷・ばい煙・降灰・酸性雨・異常気象その他の天災地変や公害・塩害・ほこり・腐食性の有害ガス・異常電磁波・異常電圧・異常周波数による故障および損傷。
 - (ホ) 建築躯体の変形等、機器本体以外に起因する不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等によって生じる外観上の現象。
 - (ヘ) 車両、船舶などに搭載して使用された場合の故障および損傷。
 - (ト) 本書の提示がない場合。
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合あるいは字句が書き替えられた場合。
 - (リ) 指定外の燃料、使用電源(電圧)の使用による故障および損傷。
 - (ヌ) 温泉水・井戸水・地下水を給水したことにより起因する不具合。
 - (ル) ご転居などによる熱量変更に伴う改造・調節の場合。
 - (ヲ) 水道管の錆びなど、異物の流入による故障および損傷。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社お客様センターにお問合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは24ページをご覧ください。

お買い上げ日および販売店名

お客様	ご芳名	販売店	店名	扱者印
	ご住所		住所	
	お買い上げ日		年 月 日	

修理記録

この機器の修理記録は、機器内に収納の故障診断シートに記録します。

お客様へ

この保証書をお受取りになるときに、お買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

リンナイ株式会社

〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号
TEL 代表 052-361-8211

故障・修理・製品についてのお問い合わせ

■インターネットの場合

修理のお申し込み

お問い合わせ・サポート



■お電話の場合(お客様センター)

修理の受付：365日24時間

お問い合わせ：平日9:00~18:00 土日祝9:00~17:00
※年末年始は除く

フリーダイヤル ☎ 0120-054321

携帯電話からは下記におかけください。(通話料が発生します。)

ナビダイヤル ☎ 0570-550258

U353-0800(02)K

保守点検・所有者登録についてのお問い合わせ

保守点検コールセンター ☎ 0120-493110

受付時間 平日9:00~19:00
※土日祝など当社指定休日を除く



060 00012 34536 0